

---


# 伊勢崎佐波地区 景気動向調査


No.36 2012. 1~3月期

---

## Contents

- 第36回伊勢崎佐波地区  
景気動向調査…………… 業況判断D. I. が3期連続改善
- 特別調査…………… 「東日本大震災から1年を経た中小企業経営」

 伊勢崎商工会議所

 アイオーしんきん

## 1. 業況

### 業況判断 D.I.が3期連続改善

























今期の全業種での企業の景況感を示す業況判断 D.I.は $\Delta 7.8$  と、前期調査(2011. 10～12: $\Delta 14.0$ )との比較で 6.2 ポイント改善し、3 期連続の改善となりました。また、前年の同時期(2011. 1～3: $\Delta 11.3$ )との比較でも 3.5 ポイント改善している結果となりました。一方、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他 2 団体が実査した全国調査との比較でも、全業種における業況判断 D.I.の全国値 $\Delta 32.2$  を 24.4 ポイント上回り、また、業種別の業況判断 D.I.も、全業種で全国値を上回る結果となりました。

業種別の業況判断 D.I.は、前期調査との比較では、小売業、建設業、サービス業は改善となりましたが、製造業と卸売業は悪化となっております。

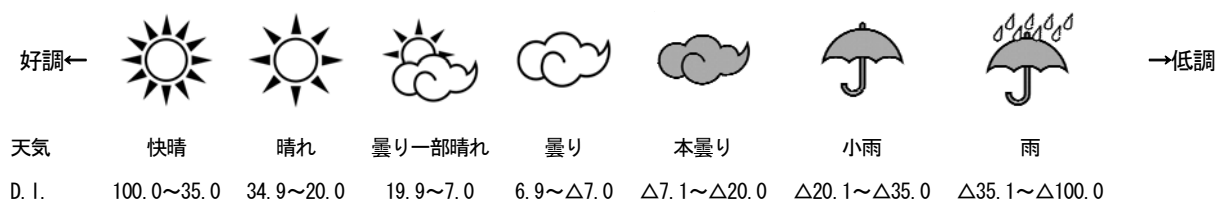
業況判断 D.I.の順位は、上位から建設業、サービス業、製造業、卸売業、小売業の順となりました。

来期(2012.4～6)の業況判断見通しは、全業種でみると D.I.値は $\Delta 4.0$  で、今期( $\Delta 7.8$ )と比較して 3.8 ポイント改善の見通しを示しています。業種別に見ると、製造業が 10.8 ポイント、サービス業が 5.9 ポイント、建設業が 5.4 ポイント改善の見通しとなっておりますが、小売業は 5.6 ポイント、卸売業は 3.6 ポイント悪化の見通しとなっております。

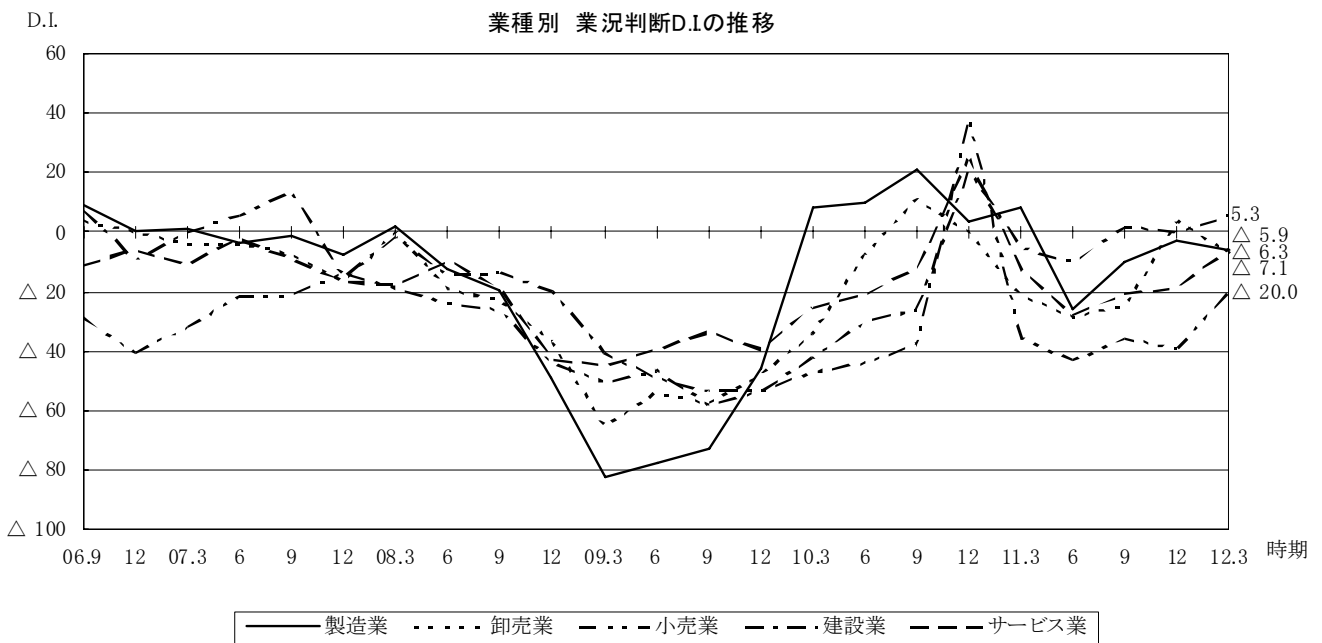
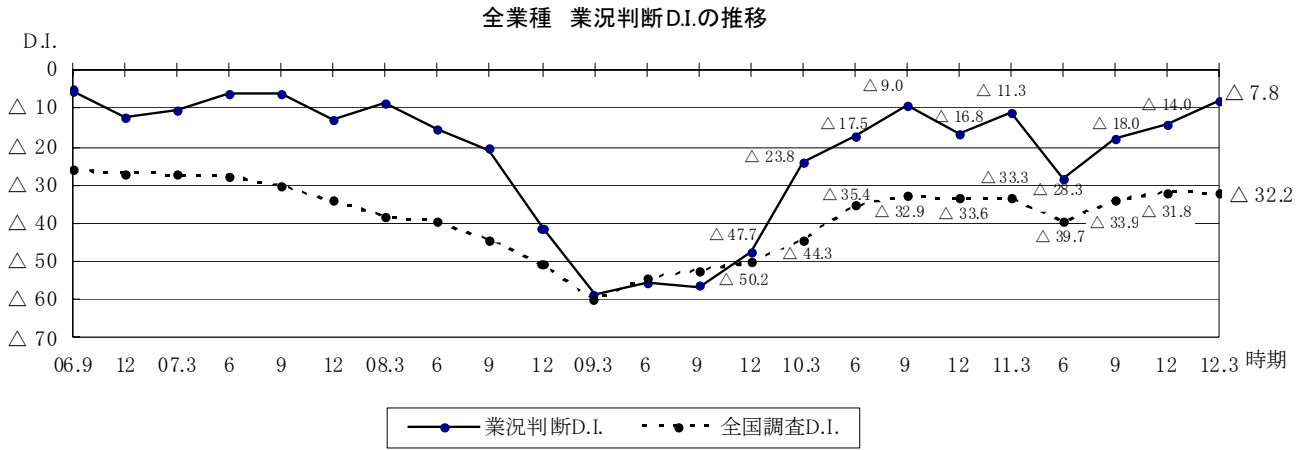
業種別天気図

	前 期 2011.10～12月	今 期 2012.1～3月	全 国 調 査 2012.1～3月	来 期 見 通 し 2012.4～6月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)



## 2. 業況判断 D.I.の推移



(参考) 業種別業況判断D.I.

(対前年同期比判断D. I.)

	前 期 2011. 10～12	今 期 2012. 1～3	全 国 調 査 2012. 1～3	来 期 見 通 し 2012. 4～6
全 業 種	△14.0	△7.8	△32.2	△4.0
製 造 業	△2.6	△6.3	△26.7	4.5
卸 売 業	3.6	△7.1	△30.1	△10.7
小 売 業	△39.3	△20.0	△45.0	△25.6
建 設 業	0.0	5.3	△23.8	10.7
サ ー ビ ス 業	△18.6	△5.9	△30.3	0.0

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

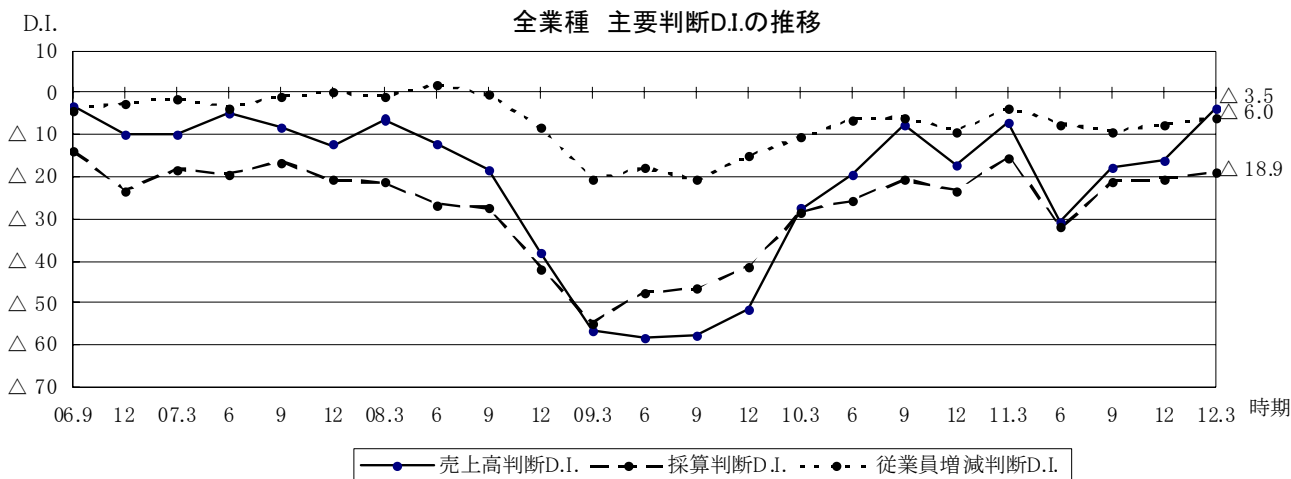
### 3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断 D.I.)

今期の全業種での売上高判断 D.I.は△3.5 と前期(2011.10~12:△16.1)比 12.6 ポイント、採算判断 D.I.は△18.9と前期(△20.4)比 1.5ポイント、従業員増減判断D.I.は△6.0と前期(△7.5)比 1.5ポイントそれぞれ改善となりました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
売 上 高	△16.1	△3.5	△1.1
採 算	△20.4	△18.9	△14.6
従 業 員 増 減	△7.5	△6.0	0.8

来期は、売上高判断D.I.は△1.1と今期との比較では 2.4 ポイント、採算判断D.I.は△14.6と同 4.3 ポイント、従業員増減判断D.I.は0.8と同 6.8 ポイント改善の見通しを示しております。



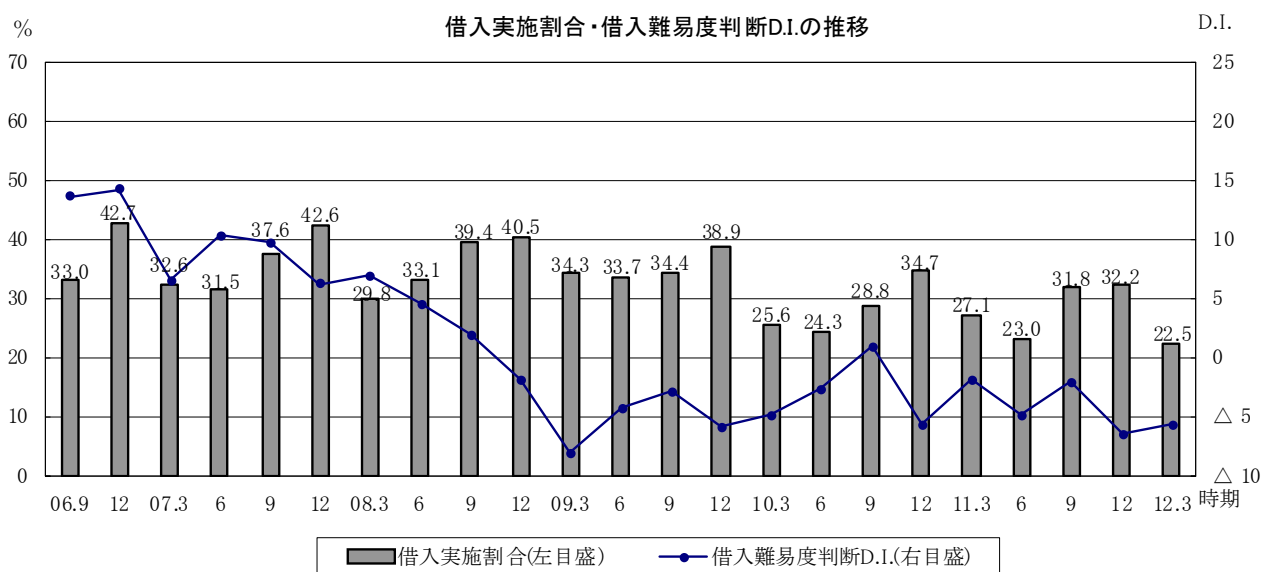
### 4. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 22.5%と、前年の同時期(2011.1~3:27.1%)との比較で 4.6 ポイント減少となりました。来期借入を予定する企業の割合は 20.1%と、今期との比較で 2.4 ポイント減少となる見込です。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	32.2%	22.5%	20.1%

借入難易度判断 D.I.	△5.6
--------------	------

また、今期の借入難易度判断 D.I.は△5.6 と、前期(△6.5)との比較で 0.9 ポイント改善し、借入が困難と判断する企業の割合がわずかながら減少したことを示しております。



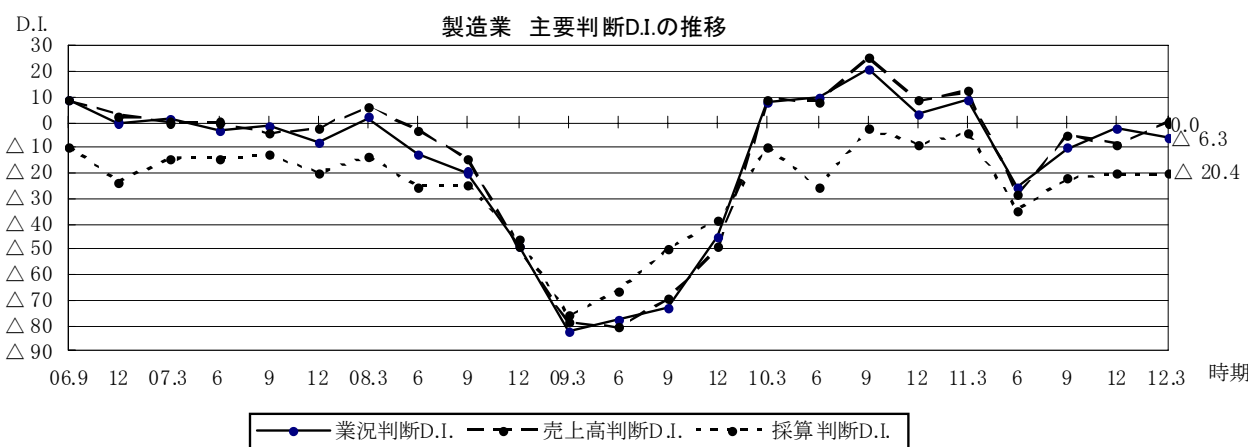
## 1. 業況

今期の製造業の業況判断 D.I.は△6.3 と、前年の同時期(2011.1~3:8.6)との比較では 14.9 ポイント悪化、また、前期調査(2011. 10~12:△2.6)との比較でも 3.7 ポイント悪化となりました(中小企業基盤整備機構が実施した日本商工会議所他の実査による全国調査との比較では、当地の業況判断 D.I.は全国値を 20.4 ポイント上回り、また、他のすべての判断項目においても全国値を上回る結果となりました)。また、その他の判断項目では、採算、原材料単価を除く項目が前期比改善となりました。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△2.6	△6.3	4.5	△26.7
売上(加工)高	△8.6	0.0	7.1	△22.1
資 金 繰 り	△14.8	△7.1	△5.3	△22.2
採 算	△20.0	△20.4	△11.5	△31.4
原材料単価	12.3	26.8	17.9	32.2
原材料在庫	△8.0	△7.1	△3.6	△9.1
従業員増減	△4.4	△2.7	1.8	△5.4
設備操業率	△4.3	△1.8	1.8	△16.4

来期は、すべての項目において今期より改善を見込む企業の割合が増加しております。



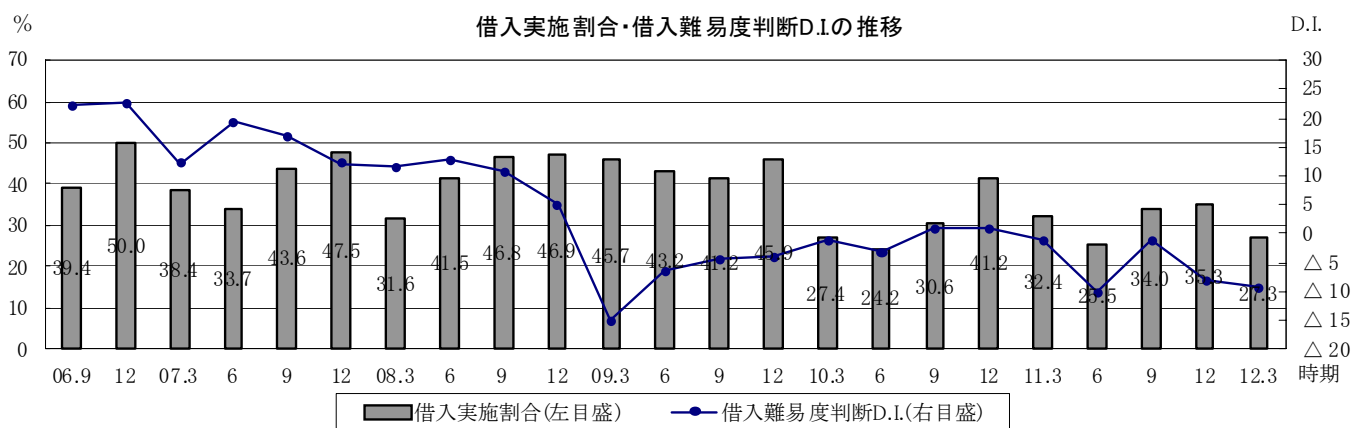
## 2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 27.3%と、前年の同時期(2011.1~3:32.4%)と比較して 5.1 ポイント減少となりました。来期借入を予定する企業の割合は 19.2%と、今期より 8.1 ポイント減少する見込です。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	35.3%	27.3%	19.2%

また、今期の借入難易度判断 D.I.は△9.2 と、前期(△7.9)との比較で 1.3 ポイント悪化し、借入を困難とする企業の割合がわずかながら増加しております。

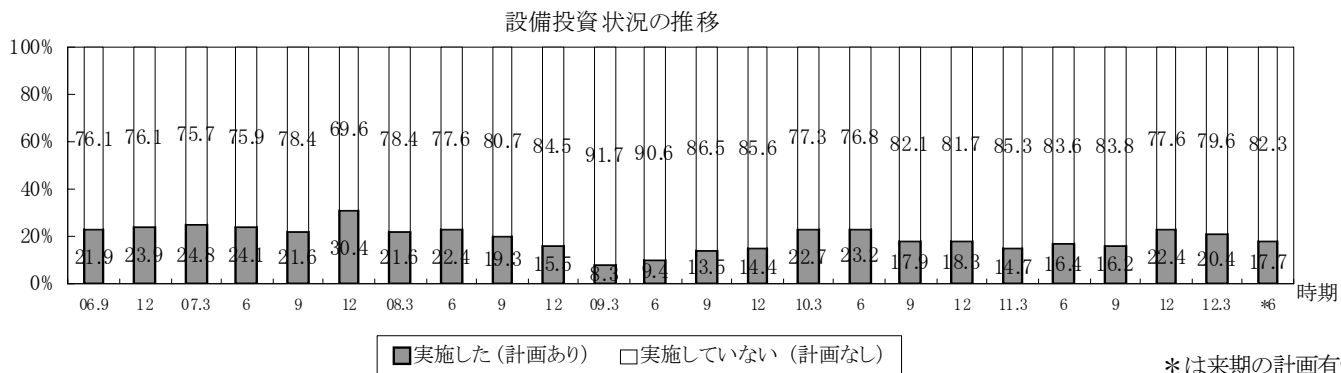
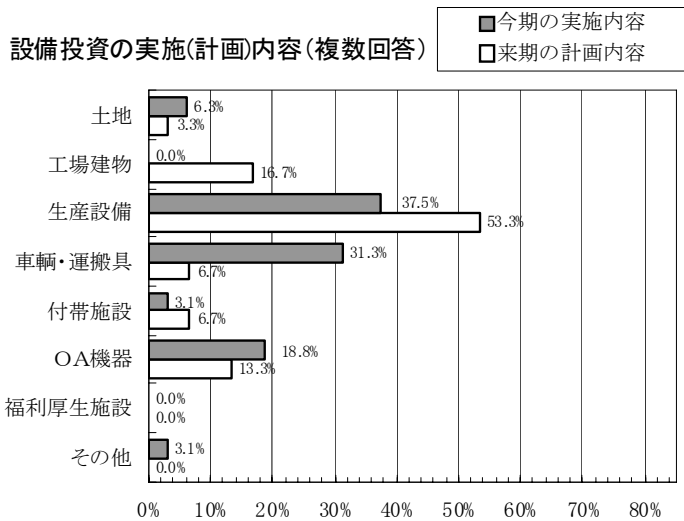
借入難易度判断 D.I.	△9.2
--------------	------



### 3. 設備投資の状況

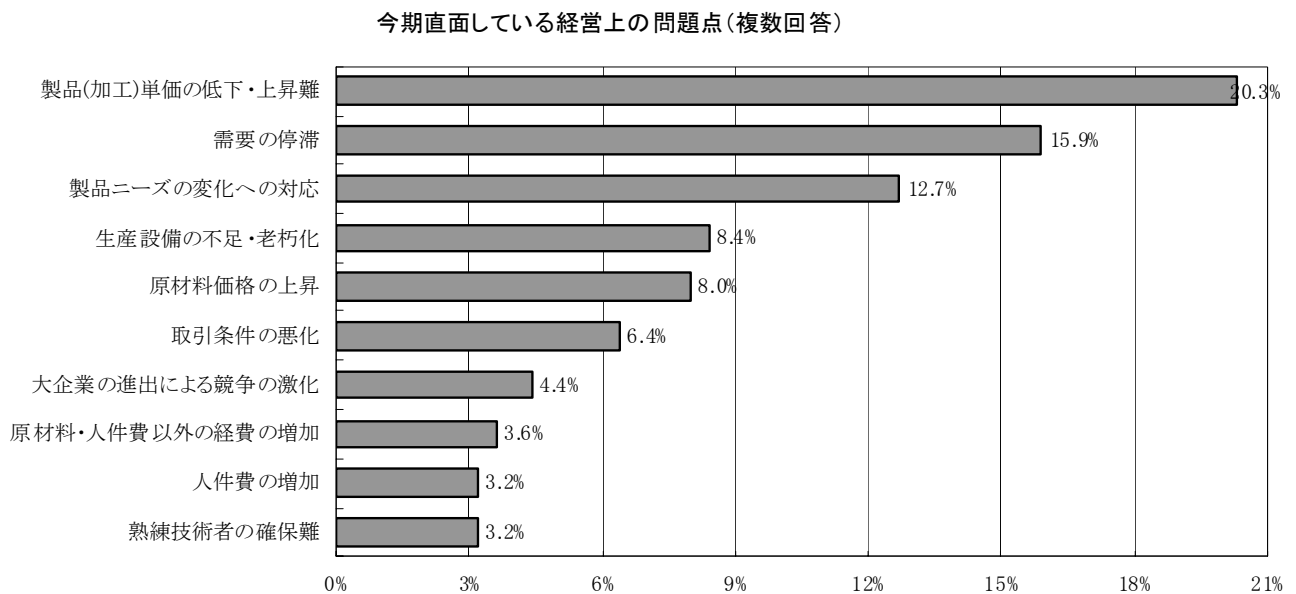
今期、設備投資を実施した企業の割合は 20.4%と、前期(22.4%)比 2.0 ポイント減少となりました。設備投資の内訳は、生産設備が 37.5%、車輛・運搬具が 31.3%、OA 機器が 18.8%、土地が 6.3%、付帯施設、その他が各々3.1%となりました。

来期につきましては、設備投資を計画する企業の割合は 17.7%で、今期と比較して 2.7 ポイント減少の見込です。設備投資の内訳は、生産設備が 53.3%、工場建物が 16.7%、OA 機器が 13.3%、車輛・運搬具、付帯施設が各々6.7%、土地が 3.3%となっております。



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「製品(加工)単価の低下・上昇難」で 20.3%、第2位が「需要の停滞」で 15.9%、第3位が「製品ニーズの変化への対応」で 12.7%という結果になりました。



# 卸売業 2012. 1～3月期 (回答28社・・・回答率96. 6%)

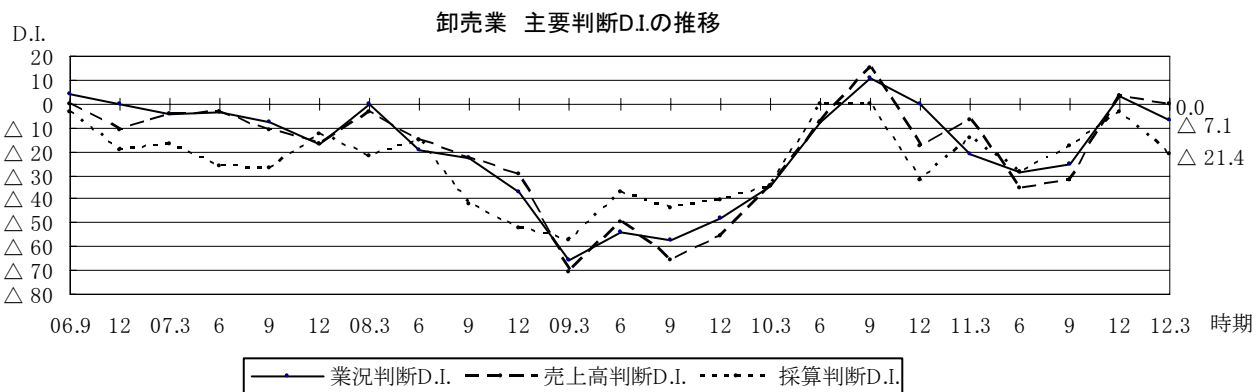
## 1. 業況

今期の卸売業の業況判断 D.I.は△7.1 と、前年の同時期(2011.1～3:△21.4)との比較では 14.3 ポイント改善となりましたが、前期(2011. 10～12:3.6)との比較では 10.7 ポイント悪化となりました(中小企業基盤整備機構が実施した日本商工会議所他の実査による全国調査との比較では、当地の業況判断D.I.は全国値を 23.0 ポイント上回り、また、他のすべての判断項目においても全国値を上回る結果となりました)。また、その他の判断項目では、仕入単価、在庫数量、従業員増減を除く判断項目が前期比悪化となりました。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	3. 6	△7. 1	△10. 7	△30. 1
売 上 高	3. 6	0. 0	△7. 1	△27. 1
資 金 繰 り	10. 7	0. 0	0. 0	△19. 9
採 算	△3. 6	△21. 4	△7. 1	△30. 0
売 上 単 価	17. 9	0. 0	△3. 7	△10. 7
仕 入 単 価	28. 6	14. 8	7. 4	17. 5
在 庫 数 量	△3. 7	△3. 7	△3. 7	△16. 5
従 業 員 増 減	7. 4	11. 1	18. 5	△6. 2

来期は、資金繰り、在庫数量は今期と変わりませんが、採算、仕入単価、従業員増減は今期より改善、また、業況、売上高、売上単価は今期より悪化を見込む企業の割合が増加しております。



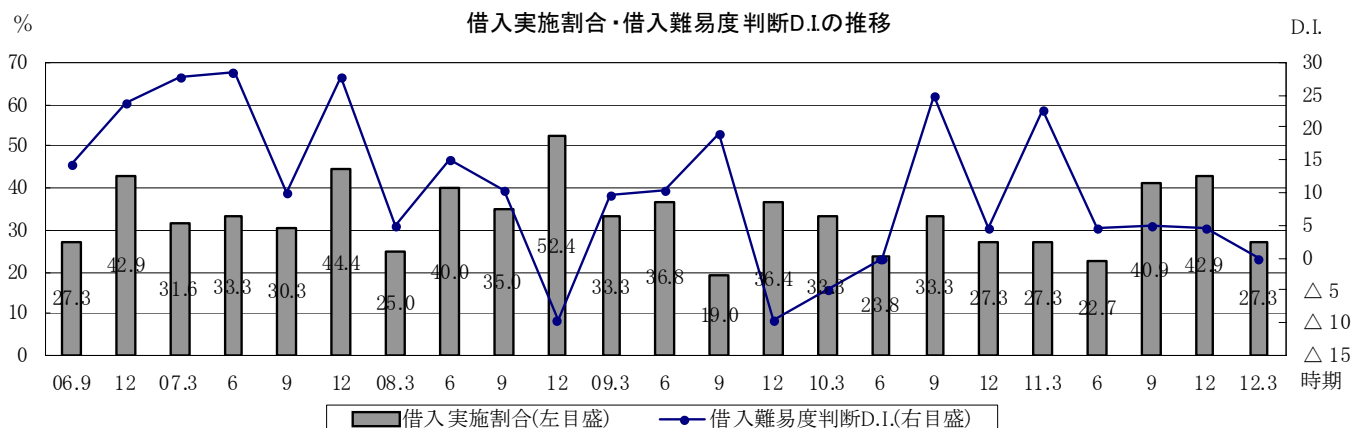
## 2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は27. 3%と、前年の同時期(2011.1～3:27.3%)と変わりませんでした。来期借入を予定する企業の割合も 27.3%と、今期と変わらない見込です。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	42. 9%	27. 3%	27. 3%

また、今期の借入難易度判断 D.I.は 0.0 と、前期(4.5)との比較で 4.5 ポイント悪化し、借入を困難とする企業の割合が増加しております。

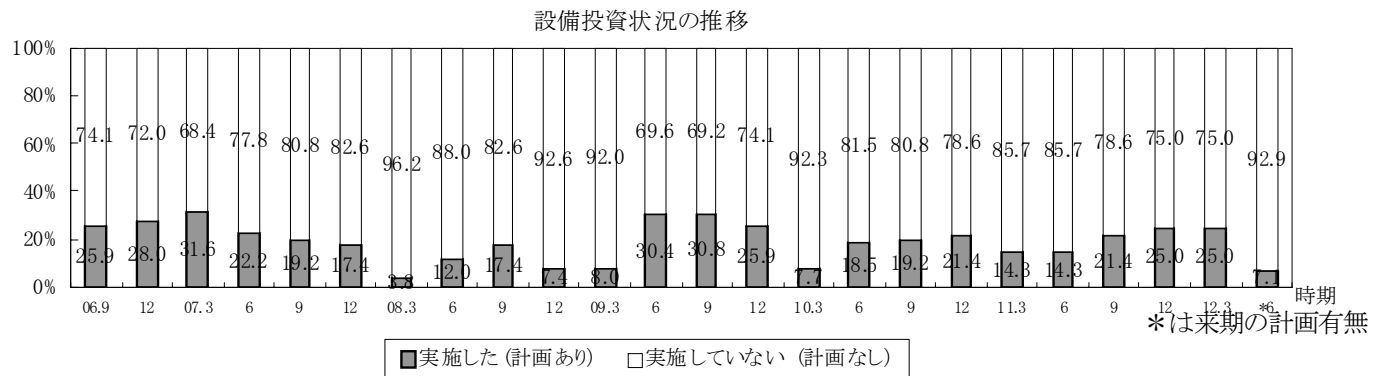
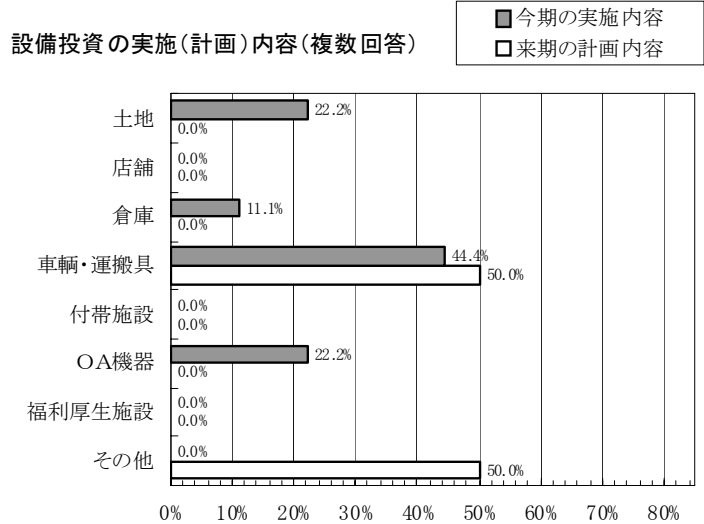
借入難易度判断 D.I.	0. 0
--------------	------



### 3. 設備投資の状況

今期、設備投資を実施した企業の割合は25.0%と、前期(25.0%)と変わりませんでした。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が44.4%、土地、OA機器が各々22.2%、倉庫が11.1%となりました。

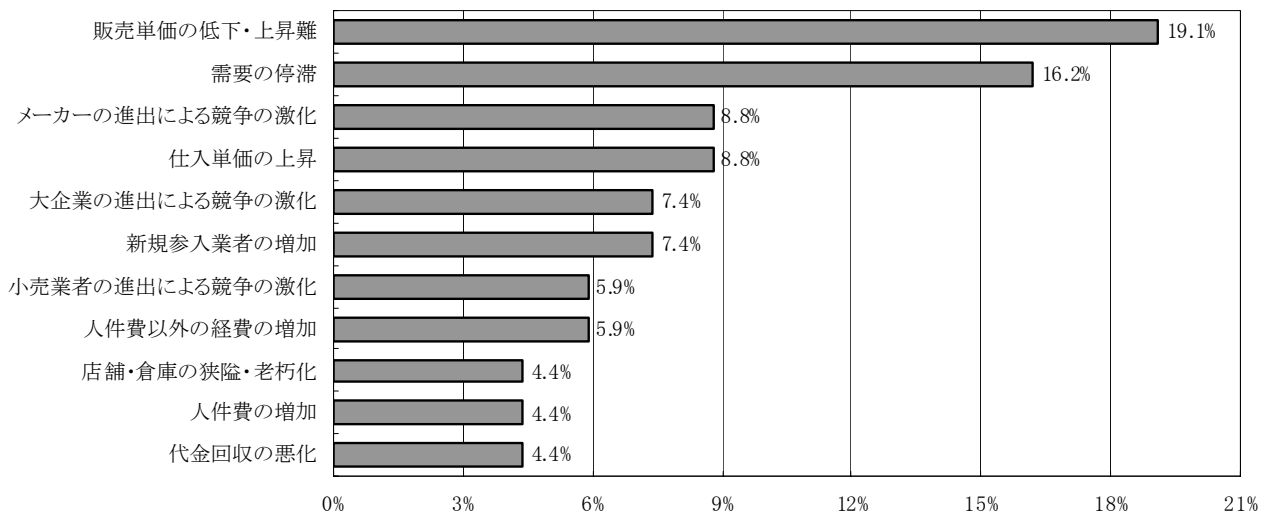
来期につきましては、設備投資を計画する企業の割合は7.1%で、今期と比較して17.9ポイント減少の見込です。設備投資の内訳は、車輛・運搬具、その他が各々50.0%となっております。



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「販売単価の低下・上昇難」で19.1%、第2位が「需要の停滞」で16.2%、第3位が「メーカーの進出による競争の激化」と「仕入単価の上昇」で各々8.8%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)



# 小売業 2012. 1～3月期 (回答90社・・・回答率96. 8%)

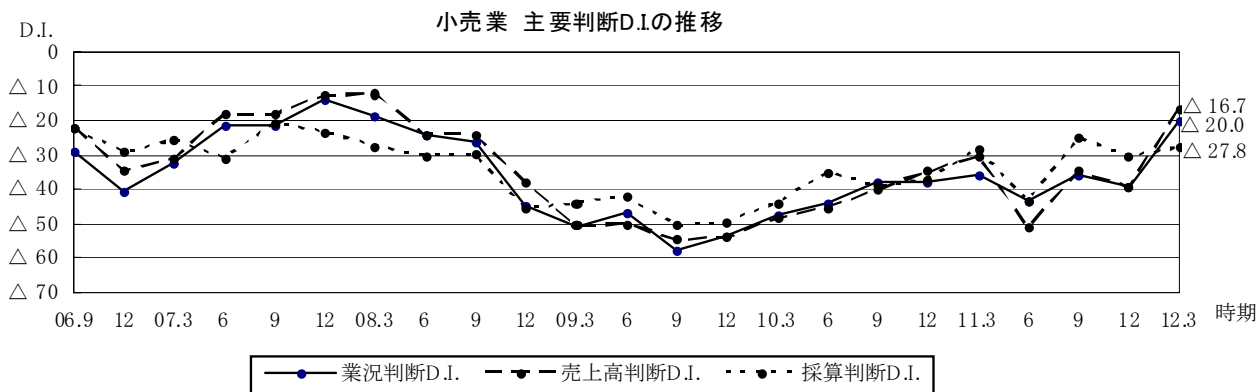
## 1. 業況

今期の小売業の業況判断 D.I.は△20.0 と、前期(2011.10～12:△39.3)との比較では 19.3 ポイント、前年の同時期(2011.1～3:△35.9)との比較でも 15.9 ポイント改善となりました(中小企業基盤整備機構が実施した日本商工会議所他の実査による全国調査との比較では、当地の業況判断 D.I.は全国値を 25.0 ポイント上回り、また、他のすべての判断項目においても全国値を上回る結果となりました)。また、その他の判断項目では、仕入単価、従業員増減を除く項目が前期比改善となりました。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△39. 3	△20. 0	△25. 6	△45. 0
売 上 高	△39. 3	△16. 7	△18. 9	△43. 5
資 金 繰 り	△22. 5	△17. 8	△12. 2	△34. 0
採 算	△30. 3	△27. 8	△24. 7	△45. 2
売 上 単 価	△33. 7	△27. 8	△28. 1	△36. 5
仕 入 単 価	0. 0	3. 3	9. 0	4. 5
在 庫 数 量	△22. 5	△17. 8	△14. 6	△27. 1
従 業 員 増 減	△2. 3	△3. 4	△2. 3	△6. 5

来期は、資金繰り、採算、在庫数量、従業員増減は今期より改善、業況、売上高、売上単価、仕入単価は今期より悪化を見込む企業の割合が増加しております。



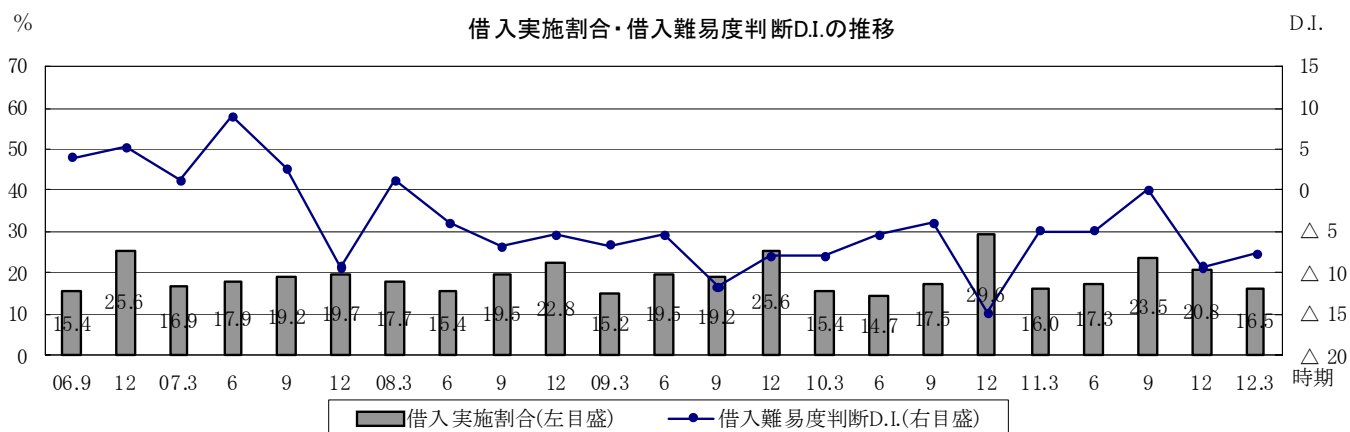
## 2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 16.5%と、前年の同時期(2011.1～3:16.0%)と比較して 0.5 ポイント増加となりました。来期借入を予定する企業の割合は 15.2%と、今期より 1.3 ポイント減少の見込です。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	20. 8%	16. 5%	15. 2%

借入難易度判断 D.I.	△7. 7
--------------	-------

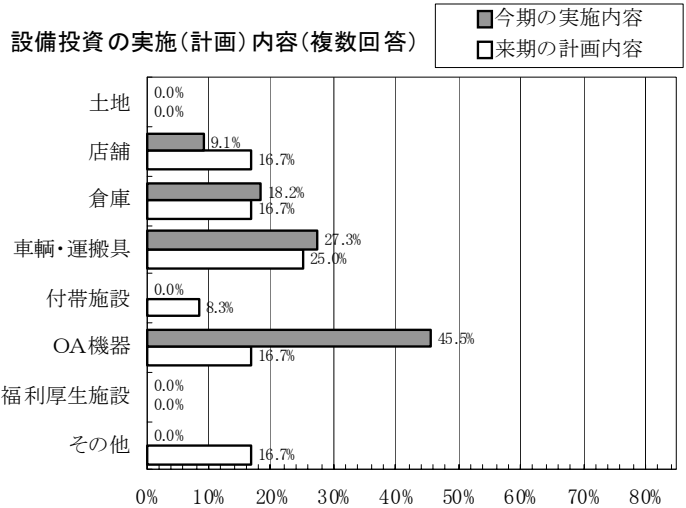
また、今期の借入難易度判断 D.I.は△7.7 と、前期(△9.2)との比較で 1.5 ポイント改善し、借入が困難であると判断する企業の割合は減少しております。



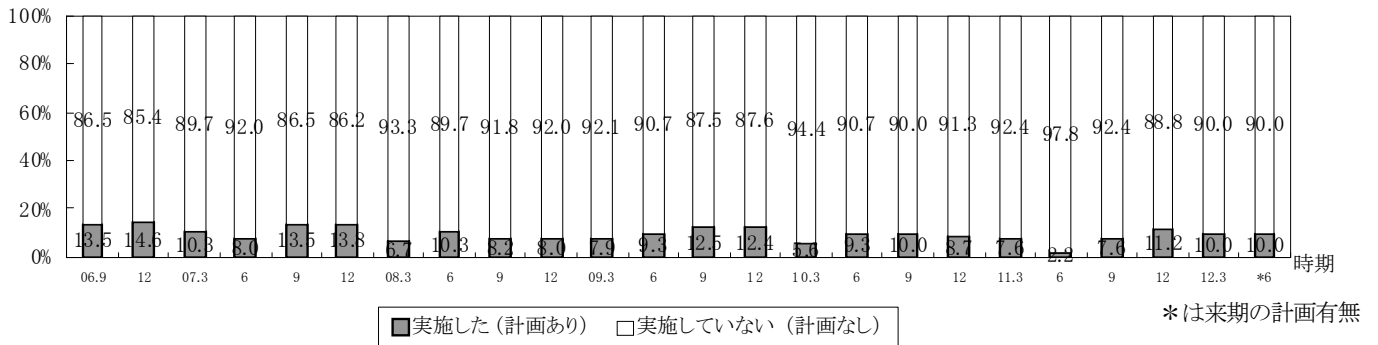
### 3. 設備投資の状況

今期、設備投資を実施した企業の割合は 10.0%と、前期(11.2%)比 1.2 ポイント減少となりました。設備投資の内訳は、OA 機器が 45.5%、車輛・運搬具が 27.3%、倉庫が 18.2%、店舗が 9.1%となりました。

来期につきましても、設備投資を計画する企業の割合は 10.0%で、今期と変わらない見込です。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が 25.0%、店舗、倉庫、OA 機器、その他が各々 16.7%、付帯施設が 8.3%となっております。



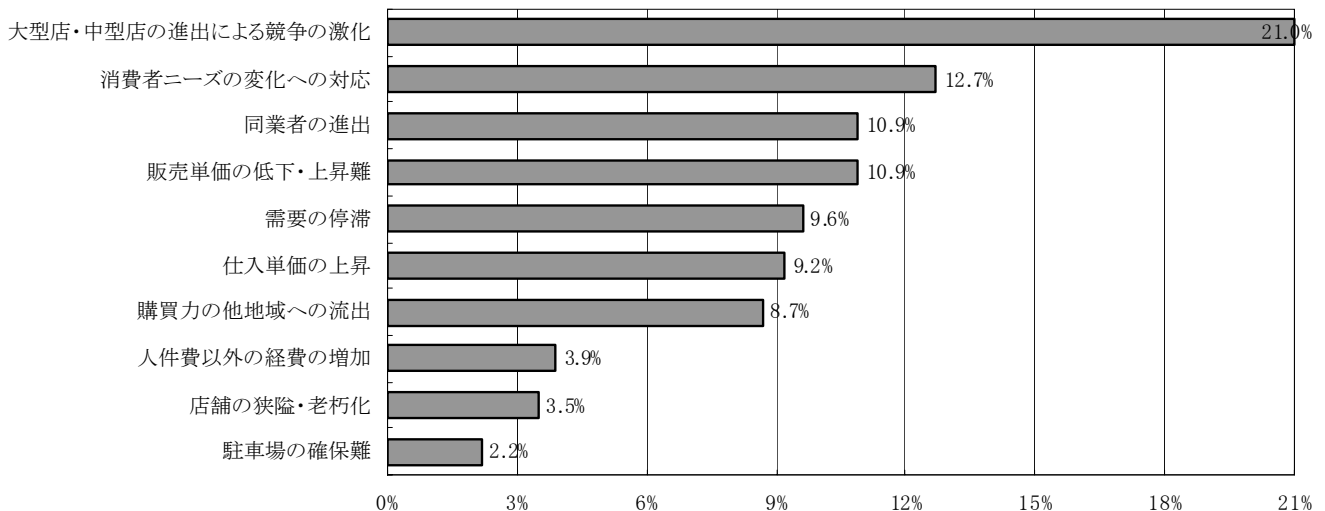
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で 21.0%、第2位が「消費者ニーズの変化への対応」で 12.7%、第3位が「同業者の進出」と「販売単価の低下・上昇難」で各々 10.9%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)



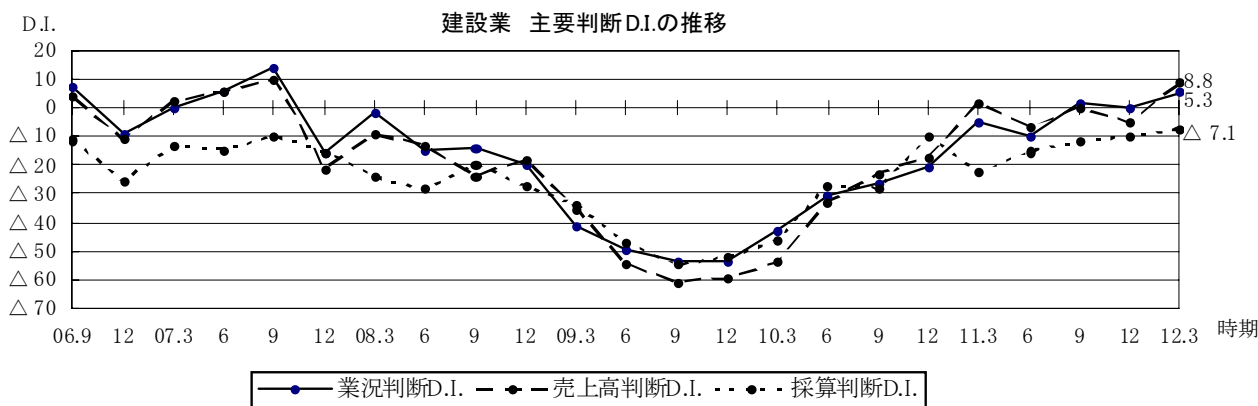
## 1. 業況

今期の建設業の業況判断 D.I.は 5.3 と、前期(2011.10~12:0.0)との比較では 5.3 ポイント、前年同時期(2011.1~3:△5.2)との比較では 10.5 ポイント改善している結果となっております(中小企業基盤整備機構が実施した日本商工会議所他の実査による全国調査との比較では、当地の業況判断 D.I.は、全国値を 29.1 ポイント上回り、また、従業員増減を除くすべての判断項目においても全国値を上回る結果となりました)。また、その他の判断項目では、材料単価、従業員増減を除く項目が前期比改善となりました。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	0.0	5.3	10.7	△23.8
売 上 高	△5.1	8.8	3.5	△18.6
資 金 繰 り	△8.5	0.0	3.5	△17.8
採 算	△10.2	△7.1	△7.1	△31.9
受 注 額	△6.8	5.4	7.1	△24.7
材 料 単 価	20.3	23.2	16.1	26.3
従 業 員 増 減	△6.8	△7.0	△3.5	△5.9

来期は、売上高、採算を除く判断項目が改善の見通しとなっております。



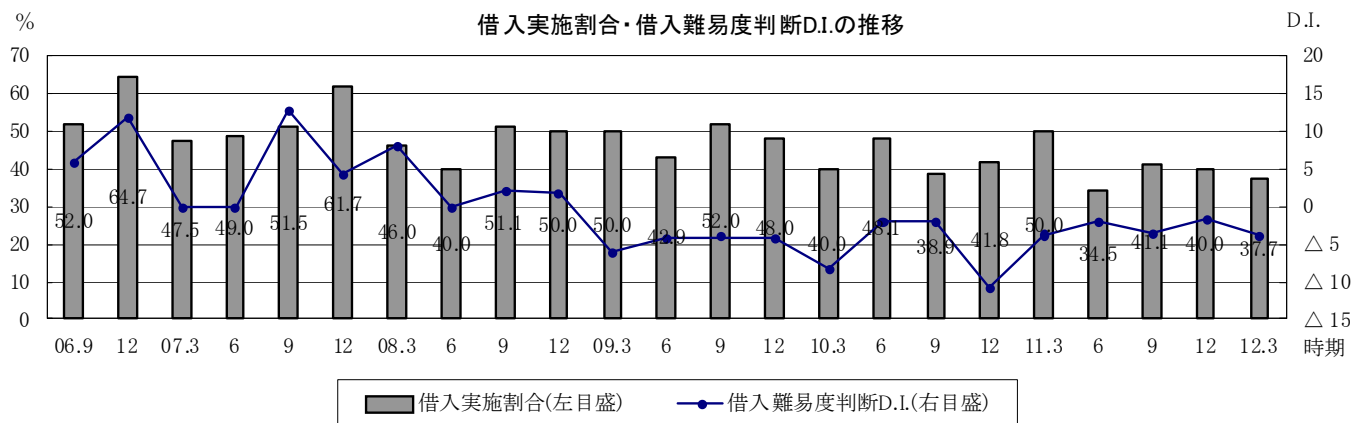
## 2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 37.7%と、前年の同時期(2011.1~3:50.0%)と比較して 12.3 ポイント減少となりました。来期借入を予定する企業の割合は 34.0%と、今期より 3.7 ポイント減少する予定です。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	40.0%	37.7%	34.0%

借入難易度判断 D.I.	△3.8
--------------	------

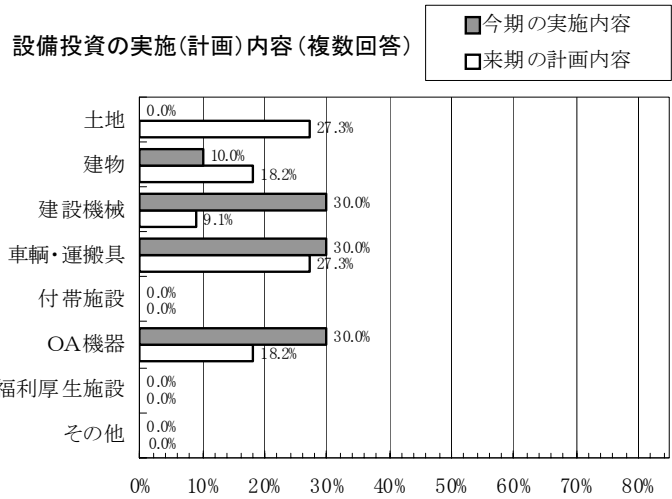
また、今期の借入難易度判断 D.I.は△3.8 で、前期(△1.8)との比較では 2.0 ポイント悪化し、借入が困難と判断する企業の割合が増加しております。



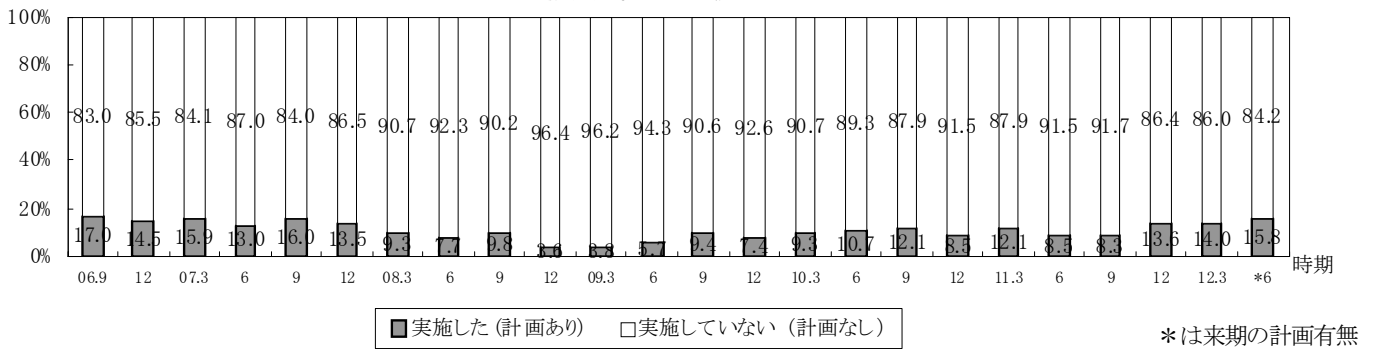
### 3. 設備投資の状況

今期、設備投資を実施した企業の割合は14.0%と、前期(13.6%)比0.4ポイント増加となりました。設備投資の内訳は、建設機械、車両・運搬具、OA機器が各々30.0%、建物が10.0%となりました。

来期につきましては、設備投資を計画する企業の割合は15.8%で、今期と比較して1.8ポイント増加の見込です。設備投資の内訳は、土地、車両・運搬具が各々27.3%、建物、OA機器が各々18.2%、建設機械が9.1%となっております。



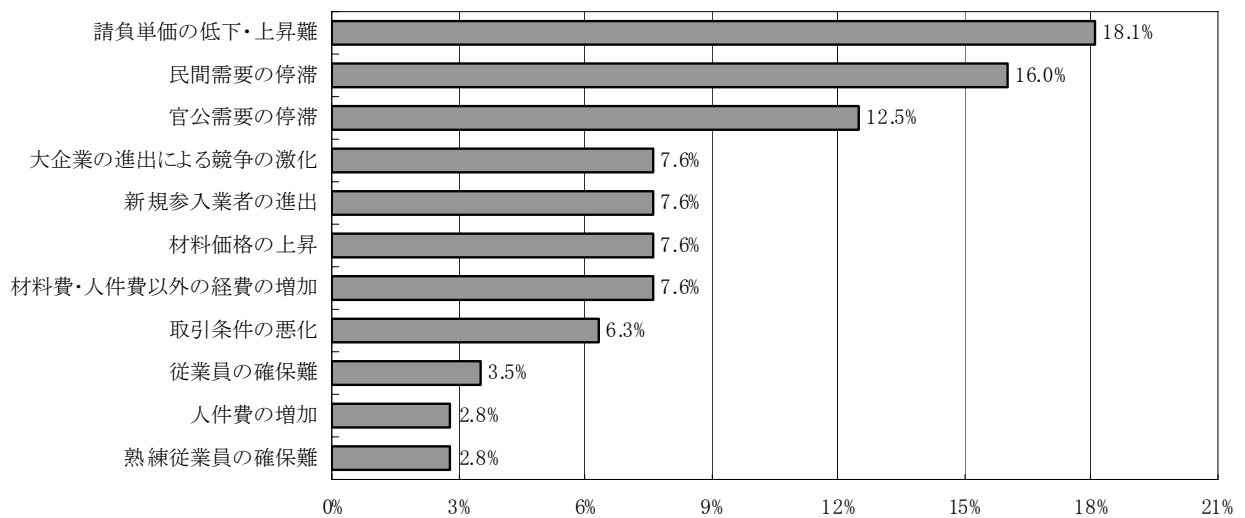
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「請負単価の低下・上昇難」で18.1%、第2位が「民間需要の停滞」で16.0%、第3位が「官公需要の停滞」で12.5%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)



# サービス業 2012. 1～3月期 (回答86社・・・回答率100. 0%)

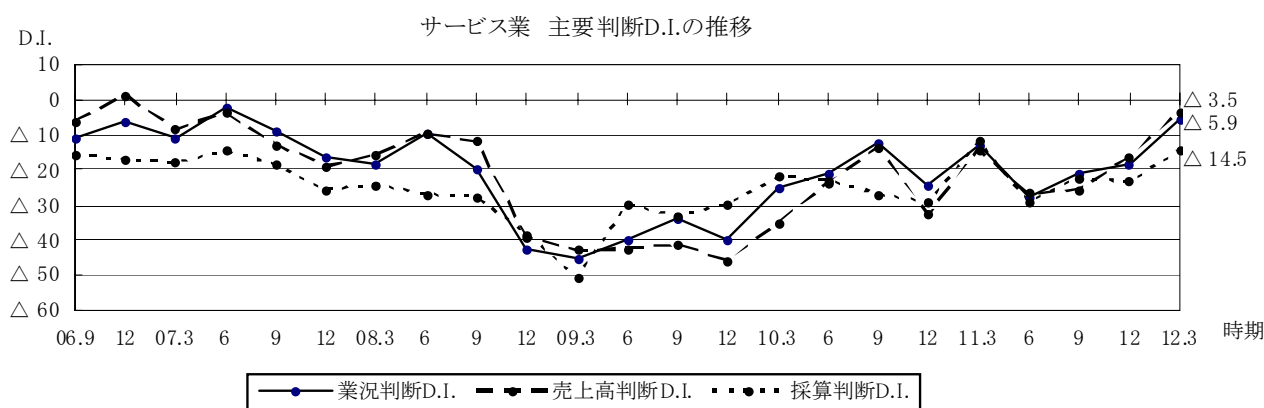
## 1. 業況

今期のサービス業の業況判断 D.I.は△5.9 と、前期(2011.10～12:△18.6)との比較では 12.7 ポイント、前年の同時期(2011.1～3:△12.9)との比較では 7.0 ポイント改善となりました(中小企業基盤整備機構が実施した日本商工会議所他の実査による全国調査との比較では、当地の業況判断 D.I.は全国値を 24.4 ポイント上回り、また、他のすべての判断項目においても全国値を上回る結果となりました)。また、その他の判断項目では、仕入単価、従業員増減を除く項目が前期比改善となりました。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△18.6	△5.9	0.0	△30.3
売 上 高	△16.3	△3.5	5.9	△28.1
資 金 繰 り	△13.1	△4.8	△2.4	△23.3
採 算	△23.3	△14.5	△15.5	△34.0
客 単 価	△16.3	△15.3	△9.4	△26.2
仕 入 単 価	9.5	14.5	13.3	18.7
従業員増減	△1.2	△2.4	0.0	△7.5

来期は、採算を除くすべての判断項目が改善の見通しとなっております。



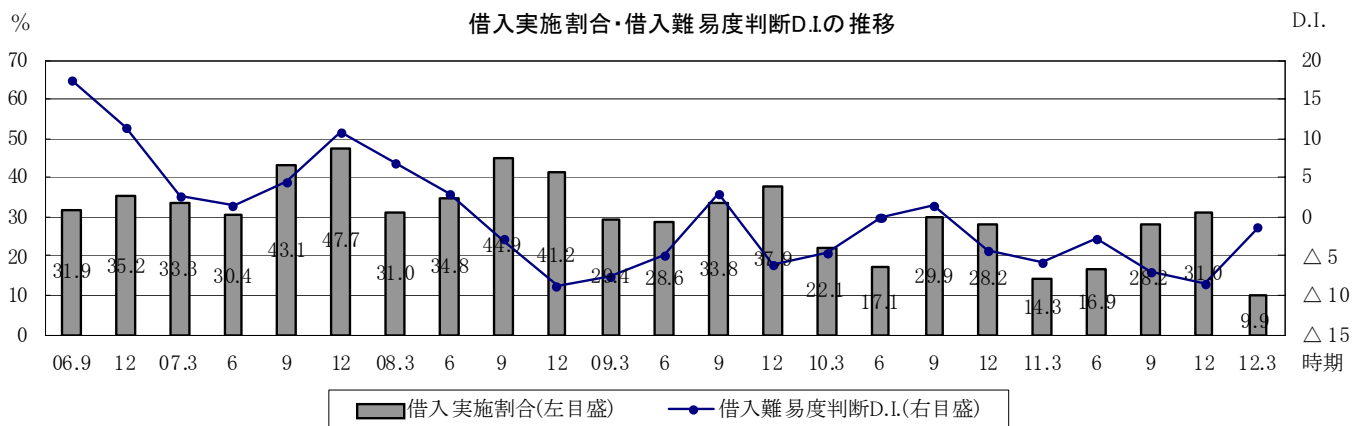
## 2. 借入金の状況

今期借入を実施した企業の割合は 9.9%と、前年の同時期(2011. 1～3:14.3%)と比較して 4.4 ポイント減少しました。来期借入を予定する企業の割合は 14.1%と、今期より 4.2 ポイント増加の見込です。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	31.0%	9.9%	14.1%

借入難易度判断 D.I.	△1.4
--------------	------

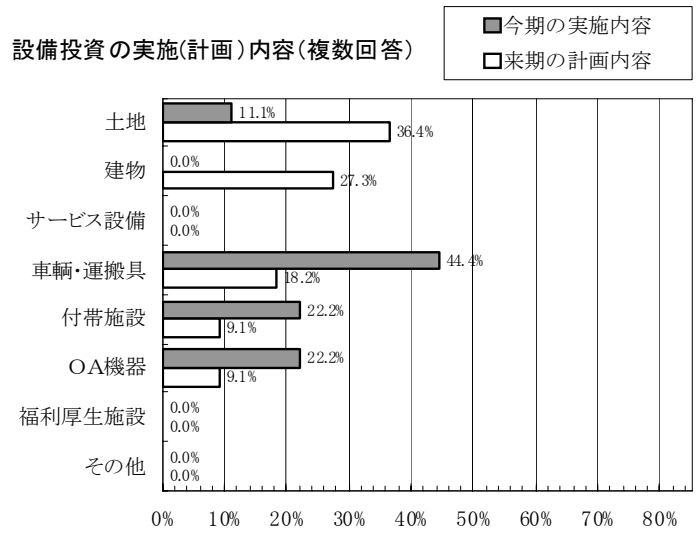
また、今期の借入難易度判断 D.I.は△1.4 で、前期(△8.5)との比較では 7.1 ポイント改善し、借入を困難と判断する企業の割合は減少しております。



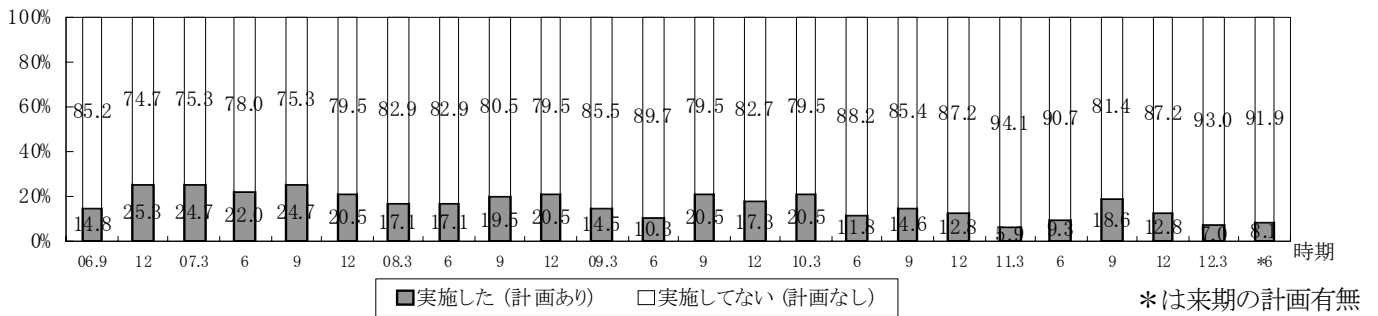
### 3. 設備投資の状況

今期、設備投資を実施した企業の割合は 7.0%と、前期(12.8%)比 5.8 ポイント減少となりました。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が 44.4%、付帯施設、OA 機器が各々22.2%、土地が 11.1%となりました。

来期につきましては、設備投資を計画する企業の割合は8.1%で、今期と比較して1.1ポイント増加の見込です。設備投資の内訳は、土地が 36.4%、建物が27.3%、車輛・運搬具が18.2%、付帯施設、OA 機器が各々9.1%となっております。



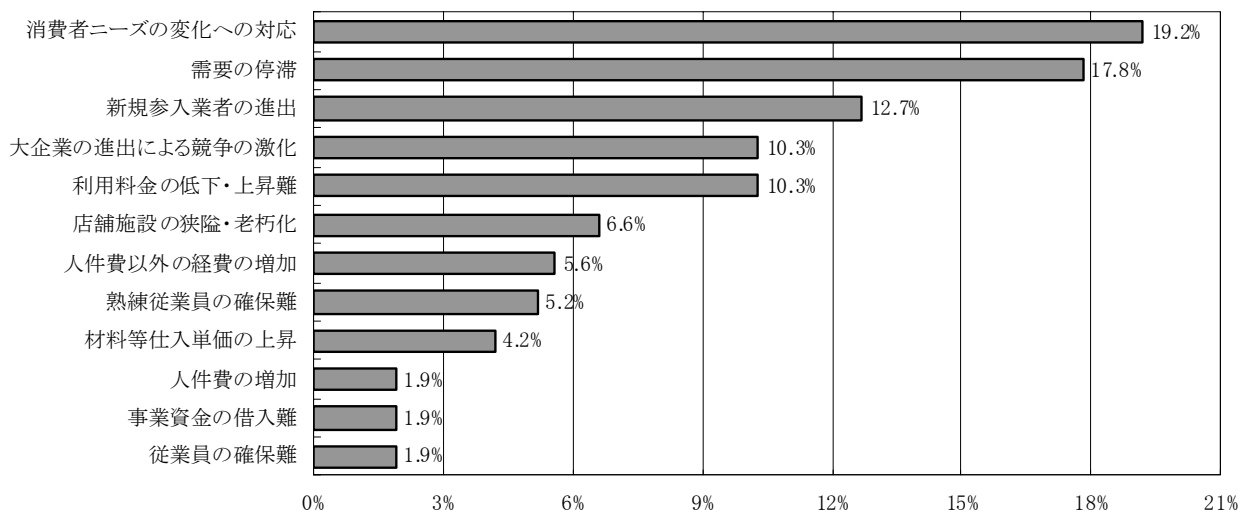
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点では、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で 19.2%、第2位が「需要の停滞」で 17.8%、第3位が「新規参入業者の進出」で 12.7%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)

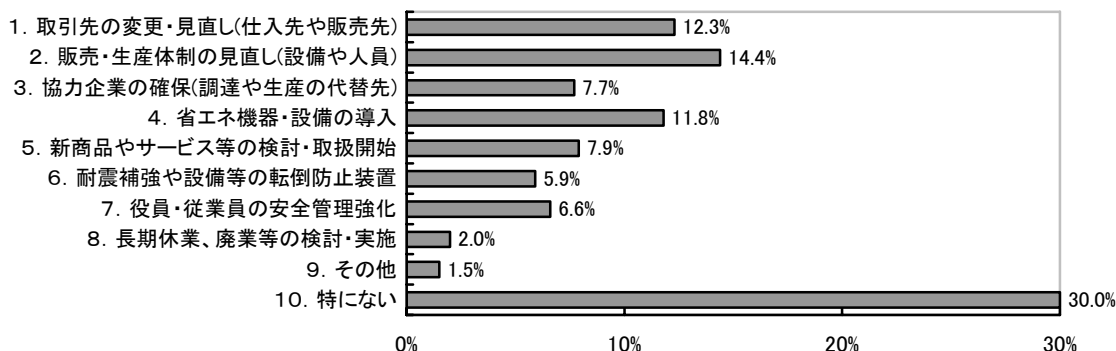




問3. 東日本大震災発生後に取り組んだ経営施策を次の1～9の中から最大3つまでお答えください。なお、取り組んだ施策が特にないという方は10を選択してください。

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 取引先の変更・見直し(仕入先や販売先) | 6. 耐震補強や設備等の転倒防止装置 |
| 2. 販売・生産体制の見直し(設備や人員)  | 7. 役員・従業員の安全管理強化   |
| 3. 協力企業の確保(調達や生産の代替先)  | 8. 長期休業、廃業等の検討・実施  |
| 4. 省エネ機器・設備の導入         | 9. その他( )          |
| 5. 新商品やサービス等の検討・取扱開始   | 10. 特にない           |

<東日本大震災発生後に取り組んだ経営施策>



問4. 災害などの緊急時における業務の継続・早期復旧のために、「事業継続計画(BCP)」の策定が有効とされています。貴社が事業継続計画(BCP)を策定(予定を含む)している場合は、策定期等について下記の1～3の中から、また、策定していない場合はその理由について4～7の中から、1つ選択してください。

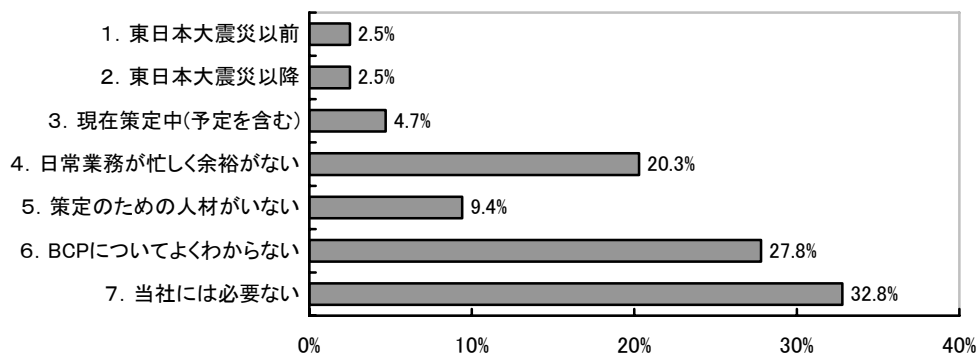
(策定済—策定期等)

1. 東日本大震災以前
2. 東日本大震災以降
3. 現在策定中(予定を含む)

(未策定—策定しない理由)

4. 日常業務が忙しく余裕がない
5. 策定のための人材がない
6. BCPについてよくわからない
7. 当社には必要ない

<事業継続計画(BCP)の策定>





## 調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談又は聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構、日本商工会議所並びに信金中央金庫の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

## 今回の調査について

調査時期	2012年3月
調査内容	① 今期の状況:前年の同時期(2011年1月～3月)と比較した今期(2012年1月～3月)の状況及び前期(2011年10月～12月)と比較した今期の状況。 ② 来期見通し:前年の同時期(2011年4月～6月)と比較した来期(2012年4月～6月)の見通し。
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による聴取り調査
調査対象企業数	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 387社
回答企業数	374社
回答企業業種別内訳	下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	113	117	96.6%
卸売業	28	29	96.6%
小売業	90	93	96.8%
建設業	57	61	93.4%
サービス業	86	86	100.0%
合計	374	386	96.9%

## 調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数(Diffusion Index-D.I.)を用いております。この判断指数(D.I.)とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

# 集計結果 (2012. 1~3月期)

(単位:%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	18.5	55.1	26.3	△ 7.8	13.1	59.7	27.2	△ 14.2	19.1	57.7	23.2	△ 4.0
	売上	23.1	50.4	26.5	△ 3.5	16.8	55.4	27.7	△ 10.9	23.1	52.8	24.1	△ 1.1
	採算	6.5	68.1	25.4	△ 18.9					7.3	70.8	21.9	△ 14.6
	従業員増減	7.9	78.2	13.9	△ 6.0					7.4	86.0	6.6	0.8
	借入難易度					8.1	78.2	13.7	△ 5.6				
製造業	業況	25.0	43.8	31.3	△ 6.3	16.2	55.0	28.8	△ 12.6	27.7	49.1	23.2	4.5
	売上	31.9	36.3	31.9	0.0	18.8	50.9	30.4	△ 11.6	29.2	48.7	22.1	7.1
	資金繰り	10.6	71.7	17.7	△ 7.1	7.4	74.1	18.5	△ 11.1	11.5	71.7	16.8	△ 5.3
	採算	9.7	60.2	30.1	△ 20.4					10.6	67.3	22.1	△ 11.5
	原材料単価	31.3	64.3	4.5	26.8					19.6	78.6	1.8	17.9
	原材料在庫	8.0	76.8	15.2	△ 7.1					7.1	82.1	10.7	△ 3.6
	従業員増減	10.8	75.7	13.5	△ 2.7					8.1	85.6	6.3	1.8
	設備操業率	16.8	64.6	18.6	△ 1.8					17.7	66.4	15.9	1.8
	借入難易度									8.2	74.5	17.3	△ 9.2
卸売業	業況	25.0	42.9	32.1	△ 7.1	19.2	46.2	34.6	△ 15.4	17.9	53.6	28.6	△ 10.7
	売上	21.4	57.1	21.4	0.0	19.2	38.5	42.3	△ 23.1	21.4	50.0	28.6	△ 7.1
	資金繰り	10.7	78.6	10.7	0.0	7.7	80.8	11.5	△ 3.8	10.3	79.3	10.3	0.0
	採算	10.7	57.1	32.1	△ 21.4					14.3	64.3	21.4	△ 7.1
	売上単価	18.5	63.0	18.5	0.0					14.8	66.7	18.5	△ 3.7
	仕入単価	25.9	63.0	11.1	14.8					18.5	70.4	11.1	7.4
	在庫数量	11.1	74.1	14.8	△ 3.7					11.1	74.1	14.8	△ 3.7
	従業員増減	14.8	81.5	3.7	11.1					18.5	81.5	0.0	18.5
	借入難易度									18.2	63.6	18.2	0.0
小売業	業況	11.1	57.8	31.1	△ 20.0	4.5	62.9	32.6	△ 28.1	8.9	56.7	34.4	△ 25.6
	売上	14.4	54.4	31.1	△ 16.7	7.9	59.6	32.6	△ 24.7	13.3	54.4	32.2	△ 18.9
	資金繰り	2.2	77.8	20.0	△ 17.8	1.1	81.8	17.0	△ 15.9	4.4	78.9	16.7	△ 12.2
	採算	2.2	67.8	30.0	△ 27.8					3.4	68.5	28.1	△ 24.7
	売上単価	1.1	70.0	28.9	△ 27.8					2.2	67.4	30.3	△ 28.1
	仕入単価	15.6	72.2	12.2	3.3					19.1	70.8	10.1	9.0
	在庫数量	5.6	71.1	23.3	△ 17.8					4.5	76.4	19.1	△ 14.6
	従業員増減	2.3	92.0	5.7	△ 3.4					5.8	86.0	8.1	△ 2.3
	借入難易度									3.8	84.6	11.5	△ 7.7
建設業	業況	22.8	59.6	17.5	5.3	17.9	69.6	12.5	5.4	23.2	64.3	12.5	10.7
	売上	29.8	49.1	21.1	8.8	26.8	60.7	12.5	14.3	26.3	50.9	22.8	3.5
	資金繰り	8.8	82.5	8.8	0.0	3.8	86.5	9.6	△ 5.8	8.8	86.0	5.3	3.5
	採算	8.9	75.0	16.1	△ 7.1					7.1	78.6	14.3	△ 7.1
	受注額	25.0	55.4	19.6	5.4					23.2	60.7	16.1	7.1
	材料単価	25.0	73.2	1.8	23.2					25.0	66.1	8.9	16.1
	従業員増減	3.5	86.0	10.5	△ 7.0					5.3	86.0	8.8	△ 3.5
	借入難易度					7.5	81.1	11.3	△ 3.8				
サービス業	業況	12.9	68.2	18.8	△ 5.9	12.9	60.0	27.1	△ 14.1	16.5	67.1	16.5	0.0
	売上	16.5	63.5	20.0	△ 3.5	16.5	58.8	24.7	△ 8.2	23.5	58.8	17.6	5.9
	資金繰り	4.8	85.5	9.6	△ 4.8	3.8	78.8	17.5	△ 13.8	8.4	80.7	10.8	△ 2.4
	採算	3.6	78.3	18.1	△ 14.5					4.8	75.0	20.2	△ 15.5
	客単価	2.4	80.0	17.6	△ 15.3					5.9	78.8	15.3	△ 9.4
	仕入単価	19.3	75.9	4.8	14.5					18.1	77.1	4.8	13.3
	従業員増減	7.3	82.9	9.8	△ 2.4					6.1	87.8	6.1	0.0
借入難易度					10.0	78.6	11.4	△ 1.4					

## 伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.36

---

発行 伊勢崎商工会議所 相談課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-cci.or.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5000 (本部代表)

<http://www.io-web.jp>

---

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。